

こころだより（令和8年度4月）

社会福祉法人東京児童協会 すみだ中和こころ保育園

〒130-0024 東京都墨田区菊川1-18-5

TEL 03-6666-9449 FAX 03-6666-9479

園長 齋藤 早希

ご進級・ご入園おめでとうございます

桜の花が咲きそろい、春の訪れとともに保育園の新しい一年が始まりました。令和8年度は12名の新入園児を迎え、58名の子どもたちと一緒にスタートします。一人ひとりの笑顔あふれる一年にしたいと思います。入園、進級に伴い保育室や担任が変わり、子どもたちも変化を感じる4月です。はじめは緊張や戸惑いがあるかもしれませんが、子どもたちが一日も早く安心して、居心地よく過ごせるよう努めてまいります。保護者の皆様にとっても大切なはじめの一歩ですので、ご家庭での生活リズムも大切にいただき、お子さまの様子で気になることやご心配なことがございましたら、小さなことでもお気軽にお声掛けください。

開園15年目を迎えて

当園はこの4月で開園15年目を迎えます。これまで多くの子どもたちや保護者の皆さま、そして地域の方々に支えられながら歩んでくることができました。心より感謝申し上げます。

子どもたちが毎日を安心して過ごし、笑ったり驚いたり、時には悔しい思いをしたりしながら成長していく姿を、地域の皆さまと共に見守ってこられたことは、私たちにとって大きな喜びです。子どもたちが育つと同時に、園もまた地域の中で少しずつ育てていただいていたのだと感じています。

これからも園が子どもたちにとっての「大きなおうち」であり、保護者の皆さまや地域の方々にとっても安心できる場所となるよう、職員一同努めてまいります。また、大切なお子さまをお預かりするにあたり、安全を第一に、安心して園生活を送ることができるよう園運営を行ってまいります。今後も引き続き、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

大きなおうちの教育保育

私たちは「大きなおうち」を教育保育理念とし、こども園が子どもたちにとって第二のおうちとして安心して過ごせるように、保育者が温かくかかわり信頼関係を築いていきます。子どもも大人も互いに支えあい、育ちあう家庭的な園を目指しています。第一のおうちである家庭と絆で結ばれた園生活を通して、家族的体験を大切に、友だち、保育者、異年齢での子どもとの交わりや、一人一人の成長を促す環境のなかでゆったりと育ちあっていきます。教育保育方針の「生きる力・夢・思いやり・学びに向かう力」の4つを土台として3つの育ち（心、食、意欲）を培えるよう、子どもの発達や季節に即した体験・経験などを教育保育計画に取り入れ、個々の興味関心を広げられるよう活動を行ってまいります。教育保育理念、目標、方針を基に豊かな園生活を送れるようにしていきたいと思っております。

園だよりについて

毎月、発行する園だより『こころだより』は、事務連絡をはじめとし、保育士、看護師、栄養士が記事をつくっています。各視点から子どもの様子を伝え、月ごとのクラスの目標、めやすや活動の意図などをお知らせしていきます。

4月の予定

1日	入園式・進級式	22日	異文化交流（幼児）
10日	杉アート（月組）	23日	誕生日会
16日	0歳児健診	24日	お花の会（月組）
17日	お茶の会（月組）		

* 乳児…0.1.2歳児クラス / 幼児…3.4.5歳児クラス

* 業者による日常の園生活や活動、行事の写真を撮影し販売します。詳細や認証キーは手紙をご覧ください。

お願い

登園時間について

基本の登園時間は9:30までとし、定期通院などの受診のため遅刻する場合などは、食事の時間や園での生活リズムの関係上食事前までの登園にご協力をお願いいたします。

保育だより

0歳児 あひる組



年間目標

- 保育者と十分なスキンシップを通して、心身ともに快適な環境の中で、情緒の安定を図る。
- 安心できる環境の中で聞く・見る・触るなどの感覚の動きが豊かになるようにする。
- 保育者に見守られて、はいはい・つかまり立ち・つたい歩き・ひとり立ちの段階を経て歩行を獲得し、しっかりと歩けるようにする。
- 喃語や片言を優しく受けとめてもらい、発語や保育者とのやりとりを楽しめるようにする。

4月の保育目標

- 一人ひとりの生活リズムで保育者や保育室に慣れ、安定した生活を送る。
- 伸び伸びと身体を動かし、はう、歩くなどの運動をしようとする。

お楽しみ

- 保育者と一緒に遊ぼう
- お兄さん、お姉さんにたくさんお世話をしてもらおう

1歳児 うさぎ組



年間目標

- 保育者の話しかけなどを通して、発語が促されることによって言葉を使うことを楽しめるようにする。
- 一人ひとりの子どもの気持ちを理解し、受容することによって信頼関係を深め安心して過ごせるようにする。
- 保育者が聞く、見る、触るなどの経験を通して、目・耳・手・指などの感覚の働きを促し気持ちを表現する力を豊かにする。
- 食事や排泄、衣服の着脱といった基本的な生活行動に興味を持ち、自らやろうとする気持ちをもてるようにする。

4月の保育目標

- 新しい環境に慣れ、安心して過ごす。
- 春の自然を感じ、探索を楽しむ。

お楽しみ

- 戸外にたくさん出掛けよう
- コロールやシール貼り等、自由に表現しながら指先を使って楽しもう

2歳児 ひよこ組



年間目標

- 自分のことを自らしようとする気持ちを育てる
- 様々な遊びを通して子ども同士の関わりをもてるようにする
- 保育者の話をよく聞き、物事の良し悪しを覚える
- 好きな玩具・遊具、自然に自ら関わり、十分に遊ぶ

4月の保育目標

- 新しい環境や保育士等に慣れ、安心して過ごせるようにする。
- 保育士等や友だちと一緒に好きな遊びを見つけ、じっくりと遊ぶ。

お楽しみ

- 砂や粘土で感触を楽しもう
- 戸外や室内で身体をいっぱい身体を動かして遊ぼう

3歳児 はな組



年間目標

- 基本的な生活習慣の自立を図る。
- 物事の良し悪しを理解し、時には我慢することを経験する。
- 保育者や友だちと関わり、集団としての意識をもつ。
- 自分のしたいことや困っていることを言葉に表す。
- 物を大切にするなど、簡単な決まりや約束を守る。

4月の保育目標

- 新しい生活に慣れ、安心した気持ちで過ごせるようにする。
- 春の訪れを感じ、自然物に触れながら探索することを楽しむ。

4歳児 ほし組



年間目標

- 身の回りのことを自ら取り組めるようにする。
- 保育者の話を理解して行動する。
- 人の話を聞いたり、自分の経験したことや思ったことを話したりして、友だちとのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。
- 身近な遊具や用具を使い、十分に身体を動かして遊ぶ。

4月の保育目標

- 新しい人間関係に慣れ、安心して過ごせるようにする。
- 一人ひとりの欲求を満たして、安心感をもって行動出来るよう、子どもの様子に合わせて関わる。

5歳児 つき組



年間目標

- 身の回りの始末がしっかりできるようになる。(玩具・洋服・使った道具など)
- 人の話を注意して聞き、相手にもわかるように話す。
- 思いやりの気持ちをもって、友だちと仲良く遊ぶ。
- 様々な運動器具に進んで取り組み、工夫して遊ぶ。
- 安全や危険の意味や決まりが分かり、危険を避けて行動する。
- 身近な社会や自然事象への関心を深め、美しさや尊さなどに対する感性を豊かにする。

4月の保育目標

- 気温や気候の変化に留意して健康に過ごす。
- 年長児になった喜びを感じ、意欲的に異年齢での関わりを楽しむ。

お楽しみ

- 異年齢で散歩に出掛け、お花見を楽しもう
- 鯉のぼり製作を楽しもう
- 味噌作りを楽しもう

保健だより

ご入園、ご進級おめでとうございます。保健だよりでは、保健行事のお知らせやお子さまの健康に関することなどをお知らせしていきます。

子どもたちが元気に過ごせるよう、精一杯サポートしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【1年間の保健活動】

年間の保健行事予定です。具体的な日程などにつきましては、都度お知らせいたします。

	保健行事	健康教育	毎月の保健活動
4月		手洗いのお話	0歳児健康診断 身体測定 ※結果はKindyにて配信します。 健康教育(対象:幼児クラス) 毎月幼児クラスを対象とし、 身体の働きや健康の保持・増進に ついてお話をしています
5月	全園児内科健診(5月~7月) 全園児歯科健診(5月~7月)	からだのお話	
6月		歯の話(歯磨き指導)	
7月		プールのお話	
8月		鼻のお話	
9月		救急のお話	
10月	全園児内科健診(10月~12月) 視力測定(ほし・つき組)	目のお話	
11月	全園児歯科健診	風邪の予防のお話	
12月		風邪に負けないからだのお話	
1月		からだのお話	
2月		耳のお話	
3月		一年の成長を振り返ろう	

【薬の預かりについて】

保育園では、原則としてお薬の預かりはしていません。やむを得ない理由で、お薬の預かりを希望される場合は、事前に職員へご相談ください。薬の預かりに際しては、医師記入の与薬指示書の提出が必要です。また、以下の要項を必ずお守りください。

- 医師の処方以外の薬はお預かりできません
- 1回分のみ持参してください
- 薬に名前をフルネームで明記してください
- 登園時に必ず職員に手渡ししてください(手渡しではない場合や確認が取れない場合には与薬できません)

【体調不良時の対応】

保育時間内	受け入れ時	怪我の対応
<p>以下のような症状が見られた場合には、園での様子をご報告するとともに、お迎えをお願いするためご連絡をさせていただきます。</p> <p>お迎えの際は、ご連絡から1時間以内を目安にお越しいただきますようお願いいたします。</p> <p>また、緊急連絡先には必ず連絡が取れるようご協力をお願いいたします。</p> <p>【主な症状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・38.0℃以上の発熱 ・嘔吐、下痢 ・活動への参加が難しい様子が見られる場合 	<p>24時間以内に以下のような症状が見られた場合は、登園を控えていただきますようご協力をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発熱に伴って全身状態が優れない場合 ・解熱後24時間を経過していない場合（※解熱剤を使用していない状態で） ・嘔吐、下痢がある場合 ・頭を強くぶつけた場合 ・発疹や目の充血が見られる場合 <p>※発疹や目の充血が見られる場合は、医療機関を受診してからの登園にご協力をお願いいたします。</p> <p>※発熱等の体調不良により早退された場合も、翌日は登園を控えていただくことをおすすめします。</p>	<p>お子さまが保育時間内に怪我をした場合は、基本的に園内で応急処置を行い対応いたします。</p> <p>ただし、ケガの部位や程度により、医療機関での受診が必要と判断した場合には、保護者の方へご連絡のうえ、医療機関を受診することがあります。</p>

食育だより

園の食事について

年間目標『美味しい食事を楽しく食べる子どもを育てる』

乳幼児期から豊かな食の体験を重ねることは、生涯にわたって健康でいきいきとした生活を送るための大切な基礎となります。当法人では、年間目標をもとに、季節や旬の食材を取り入れながら日々の食事を提供しています。また、『植える“植”・触れる“触”・食べる“食”』の3つの“しょく”を、乳幼児期の『しょくいく』として大切に、日々の教育・保育の中で取り組んでいます。

今年度は、1年を通して「園と家庭をつなぐ食」をテーマに大切にしていきます。園での食事や食育の取り組みについて理解していただけるよう、おたよりやInstagram等でも発信していきますので、ぜひご覧ください。

年間予定『季節の食材“旬”について』

昨年度は、その時期ならではの旬の食材に触れる機会を設けながら、子どもたちに3つの『しょくいく』を伝えてきました。

今年度も、各季節に旬を迎える食材に触れる『しょくいく』を行うとともに、旬の食材を献立に取り入れていきます。美味しく栄養価の高い旬の食べ物に親しみを持つだけでなく、旬を通して日本の美しい四季にも親しみを感じられるような献立を、1年を通して提供していきます。

4月の献立について

- 新しい環境に慣れ楽しく食事ができるよう、家庭での食事のように親しみやすい献立を取り入れていきます。
- 子どもたちが食べやすいように食材や切り方、味付けに配慮しています。
- 香りや味覚を楽しめるように旬の野菜を多く取り入れ、食材に興味を持てるように工夫をして、色彩でも春らしさを感じられる献立にしています。
- 友だちと一緒に食べる楽しさや喜びを感じながら、家庭的なランチルームで食事をするようにしていきます。

園での食事の配慮として次のことに気をつけています

- 旬の食材を豊富に献立に取り入れています。
- 安心、安全な食材を仕入れています。
- だしは顆粒だしの使用を控えています。かつおや昆布、野菜のくずからだしをとるなど、素材の味を活用する工夫をしています。
- 味付けは薄味で素材の味を活かすように心がけています。乳児は酸味のあるサラダや汁物などは食べやすいように配慮し、提供しています。
- 個々の喫食量を把握し、成長に見合った盛りつけをしています。
- 美味しく食べてもらうために、その日の天候や活動状況に見合った温度や調味、見た目にも楽しみとなる彩り、食べやすい切り方や食具・食器の使用にも配慮しています。

園で提供しない食材、配慮をしている食材について

[園の離乳食で提供しない食材について（2026年度）.pdf](#)

家庭でできる食育「春キャベツをちぎってみよう」

春キャベツとは、秋から冬にかけて種をまき、早春から初夏にかけて収穫されるキャベツのことです。葉の巻きがゆるく、やわらかいのが特徴で、みずみずしく甘みがあります。生で食べるとシャキッとした食感が楽しめ、火を通すとふっくらとやさしい甘さが引き立ちます。

園でも旬の食材に触れる機会を大切にしながら、春ならではの味わいを楽しんでいきます。

ご家庭でも春キャベツに触れたり、ちぎったりしながら「葉っぱがやわらかいね」「甘いね」など、いつものキャベツとの違いについてお話してみてもいいかもしれません。旬の食材を通して、季節を感じるきっかけになれば嬉しく思います。

先月の食育の様子

0歳児クラスでは、フルーツヨーグルトづくりを行いました。バナナや桃を入れることを伝えると興味を示し、かき混ぜる工程では「まぜまぜ」と言いながら楽しみ、積極的に参加する姿が見られました。食材に触れながら、作る楽しさを感じることができました。

3歳児クラスでは、野菜当てクイズを行いました。どきどきしながら箱の中に手を入れると、「まるいやさいだ！」「ほそいはっぱがあった！」と友だち同士で相談する姿が見られました。応援しているお友だちからヒントをもらいながら考え、「かぶ！」と答えを導き出すことに成功していました。楽しみながら野菜への関心を深める姿が見られました。

